不知火っ子だより

第４号

平成 28 年 7 月 14 日　文責　校長 吉永博美

授業参観、学級懇談、救命救急講習会多数のご参加ありがとうございました。

子どもたちや学校の様子はいかがでしたか

蒸し暑い中でしたが、どのクラスも多数のご参加があり感謝しております。今年度初めての授業参観ということで子どもたちは、暑さの中で張り切ってがんばっていました。が、何分あの暑さでしたので、アイスクリームのように溶けている子どもたちも・・・。授業は、全学年人権学習を行いました。発達段階に応じ、どの学年の児童も真剣に考えることができました。本校の人権教育についてご紹介します。

本校の、人権教育の目標

すべての教育活動を通して人権尊重の精神を培い、助け合い、励まし合い、実践力に満ちたたくましい児童を育成する

本年度の重点目標

○一人ひとりの児童が自分の思いを表現し、友達の思いを認めていくことで、つながっていく集団をつくる。
○部落差別をはじめあらゆる人権問題に対して正しい認識を培い、解決するための技能と態度を養う。

本年度の重点目標と実践事項（①日常的な指導、②集団づくりの推進、③人権学習の充実）

①基本的な生活習慣の確立を図り、正しい言葉で自分の気持ちを伝えたり、友達の考えを認め合ったりする取組を行う。	②きつい立場の友達のことをクラスで考えたり、一つのことを成し遂げるまでの互いの努力を認め合ったりする取組を行う。	③差別に対して正しい認識を培い、解決に向けての実践力を養う取組を行う。

本校では、このような考えのもとに人権教育を行っています。「ひとみ輝く不知火っ子」を育むために一人ひとりの子どもたちが、自分らしさを発揮し、互いを認め合い、支え合いながら共に生きていくことができる学級、学校づくりを推進します。また、救命救急講習会も、暑いなか大変お世話になりました。

二階建てプレハブ校舎完成！

第二期のプレハブ校舎建設工事が完了し、給食センターと体育館の間に、２階建ての校舎が完成しました。

校舎の１階には、保健室と図書室が、２階には、特別支援学級（わかば２の２）と通級指導教室（かがやき）、英会話室が入る予定です。これまで、教室の半分に間借りしていた図書室も冷房が入る快適な空間になりますので、どんどん読書に親しんでほしいと思います。

これまで、ずいぶん窮屈でしたが、少しずつ環境が整ってきました。子どもたちも地震直後に比べると、とても落ち着いて学習や様々な活動に取り組めるようになりました。

温かいご支援をいただいています

★熊本県ＰＴＡ連合会から、地震により使えなくなったプリンターの代替として新しいレーザープリンターをいただきました。

★長崎精道学園生徒会より図書券をいただきました。精道学園は、小中一貫の私立の女子校です。生徒会で義援金を募り、本校に届けてくださいました。写真は、その贈呈の際の写真です。

★そのほかにも、手作りのおもちゃや文房具など、県外の方たちからいただいています。大事に使っていきたいと思います。

※長崎県から届けにきていただきました。

※新しいプレハブ校舎や図書券贈呈の詳しいようすなどは、本校HPに掲載していますのでご覧ください。